

1 調査日 平成22年11月4日(木)～5日(金)

2 調査の概要

11月4日(木)

(1) 公立豊岡病院(兵庫県豊岡市)

京都府、兵庫県、鳥取県の3府県は、広域的な救急医療体制を充実させるために、今年4月からドクターヘリの共同運航を実施しているが、公立豊岡病院は、その基地病院に指定されており、立ち上げから短期間にもかかわらず、非常に多くの出動実績を上げ、救命率の向上などに大きく寄与している。

一方、本県では、平成24年度より、関西広域連合の広域医療連携分野におけるドクターヘリの共同運航が計画されていることから、広域医療体制におけるドクターヘリの運航状況などについて調査を行った。

委員からは、医師や看護師など医療スタッフの確保に至った経緯や消防本部との連携方法、3府県による共同運航の実態や関西広域連合における運航などについて質疑がなされた。



11月5日(金)

(2) 鳥取県議会(鳥取県鳥取市)

鳥取県は、関西5府県以外(奈良県を除く)で、徳島県とともに関西広域連合への参加を表明しており、参加形態についても広域観光・文化振興分野と広域医療分野の2分野への部分参加を予定している。

本県も関西広域連合への参加を検討していることから、鳥取県が関西広域連合への参加を決めた経緯や今後予想される事業効果に関する考え方などについて調査を行った。

委員からは、メリットがある分野だけへの部分参加の理論付けが明確であるという意見が出され、また広域医療分野におけるドクターヘリ運航の実効性などについて質疑がなされた。

